

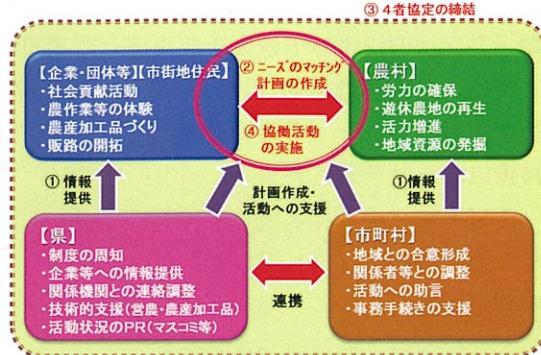
# とっとり共生の里 活用のススメ

～県民参画型の中山間地域における資源保全の取り組みについて～

## とっとり共生の里とは

中山間地域に広がる美しい農村風景は、そこで暮らす人々の営みによって、保たれている大切な地域資源です。季節の移り変わりとともに見せてくれる様々な表情は私たちの心を和ませてくれます。鳥取県では、そんな農村を未来に残していくため、企業団体等の力を借りる「とっとり共生の里」制度を発足させました。

この取組では、企業・団体や市街地住民等が鳥取県と市町村、農村と四者で協定を締結することで、県・地元市町村が連携し、農村と企業等との架け橋となり、地元との調整や企業等の社会貢献活動などを支援しています。



## <取り組みのメリット>

農村	人出不足解消、遊休農地の再生、企業従業員やその家族（若年層、女性、子ども）、市街地住民等との交流により農業継続意欲の高揚、農業・農村の役割や保全の重要性の啓発
企業・住民等	企業の社会貢献活動や企業イメージの向上、農業体験や地元農家との交流による従業員や市街地住民等のリフレッシュ・セラピー効果（心身健康維持・増進）を期待

## 取組事例

平成28年5月28日に新たに協定を締結した伯耆町日光地区を加え、現在、日野郡では日野町菅福地区、県内では9地区で取り組みが展開されています。

### <日野町菅福地区での「共生の里」（菅福連合自治会と伯耆地区郵便局長会）の取組紹介>

- 農業用水路の泥上げや農地・農道の草刈りなど保全活動
- 営農支援・農業体験（田植・稲刈／ソバ・菜種の播種・収穫／大根・白菜等の植付け・収穫 等）
- 耕作放棄地の再生、竹林整備
- 農産加工品づくり（上記(2)で収穫した農作物を使った加工品づくりやパッケージング、広告・宣伝など販売促進活動（6次産業化））
- 地域資源の磨き上げ（地域の自然・歴史・伝統文化、風土を活かした名所・旧跡など地域資源の磨き上げによるローカル観光拠点施設整備）



## 県等による支援

(1) 共生の里に取り組む農村に対し、活動に要する経費を県と市町村が補助金により支援します。

### 【共生の里保全活動推進事業補助金】

区分	共生の里	むら・まち支え合い
補助金額	1～3年目：600千円/年・地区 4～5年目：300千円/年・地区	1～2年目：390千円/年・地区 3年目：195千円/年・地区
協定期間（活動期間）	5年間	3年間
補助金交付先	農村	
補助対象	機械等のリース料、農業器具、農業資材、種苗・肥料代、調理器具、販促費用、マイクロバス借上料（むら・まち支え合いに限る）	

- 事業計画や活動実施（資源保全、耕作放棄地の再生、営農、農産加工品）に関する相談に適宜乗るなど、現場に応じた効果的な支援をしていきます。
- この活動に取り組む意向の農村とこの活動に賛同する企業・団体及び市街地住民とのマッチングや仲介についても、県が積極的に関与しバックアップしていきます。

問い合わせ・申し込み：日野振興局地域振興課 電話：0859-72-2080  
鳥取県庁農地・水保全課 電話：0857-26-7336



# 5月29日（日）に 第61回鳥取県植樹祭が 開催されました！



「誇りたい ホタル舞う森 生きる山」をテーマに「第61回鳥取県植樹祭」（県、日南町、鳥取県緑化推進委員会主催）が29日、日南町生山の「道の駅にちなみ日野川の郷」で開催されました。

鳥取県植樹祭は、昭和29年、鳥取市において火災復興を祈念した植樹が行われて以来、県内を巡回しながら開催し、今回で61回目となり、日南町では4回目の開催です。

地元「生山」の文字を盛り込み、ホタルが舞う素晴らしい土地柄を誇りとする決意をテーマとした式典では、町内外約400名の参加者の前で、森づくりの功労者表彰や子どもたちによる発表、代表植樹等が行われ、また、式典会場近くの日南町有林では、ヤマザクラ等570本の広葉樹の植樹も行われ、参加者の皆様に、森林保全への思いを新たにいただきました。

当日、ご参加の皆様、ありがとうございました。



代表植樹



アトラクション 奥日野源流太鼓



アトラクション 日南神楽神社



参加者植樹



森林・みどりへの想い  
山陰丸和林業（株）・立川さん



鳥取県美しいもりづくり功労者知事表彰  
NPO法人フォレストアカデミージャパン



江府小の少年団



根雨小の少年団



黒坂小の少年団



日南小の少年団



問 | 日野振興局 農林業振興課 電話：0859-72-2018 FAX:0859-72-2125